



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年11月12日

上場会社名 ニューラルポケット株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4056 URL <https://www.neuralpocket.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 重松 路威  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 財務管理部長 (氏名) 種 良典 (TEL) 03-5157-2345  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期第3四半期の業績 (2021年1月1日~2021年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	784	53.3	150	55.5	146	93.1	144	92.6
2020年12月期第3四半期	511	176.5	96	—	75	—	75	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年12月期第3四半期	10.23		9.75					
2020年12月期第3四半期	5.59		5.19					

(注) 当社は、2020年3月27日開催の取締役会決議により、2020年4月15日付で株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っており、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	2,214	1,435	64.8
2020年12月期	1,920	1,206	62.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 1,434百万円 2020年12月期 1,206百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,006	29.6	16	△90.4	11	△92.1	9	△92.5	0.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年12月期 3Q	14,276,200株	2020年12月期	14,013,200株
2021年12月期 3Q	65株	2020年12月期	32株
2021年12月期 3Q	14,151,189株	2020年12月期 3Q	13,451,199株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(重要な後発事象)	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は「世界を便利に、人々を幸せに」をミッションとしております。当第3四半期累計期間においては、「人流・防犯」、「駐車場・モビリティ」、「サイネージ広告」、「在宅コールセンター」、「ファッション解析」をはじめとするスマートシティを形成するサービスを独自に開発し、提供を推進いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高784,302千円（前年同期比53.3%増）、営業利益150,230千円（前年同期比55.5%増）、経常利益146,461千円（前年同期比93.1%増）、四半期純利益144,743千円（前年同期比92.6%増）となりました。

なお、当社の事業セグメントはAIエンジニアリング事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載は省略しております。

より詳しい決算内容に関しては、当社IRサイトより、2021年11月12日発表の「2021年12月期 第3四半期 決算説明資料」をご覧ください。

参考URL:<https://www.neuralpocket.com/ir/library/>

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,837,439千円となり、前事業年度末に比べ164,050千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が24,634千円増加したこと並びに商品が90,037千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は、2,214,775千円となり、前事業年度末に比べ293,780千円増加いたしました。

#### (負債の部)

当第3四半期会計期間末における流動負債は670,374千円となり、前事業年度末に比べ67,238千円増加いたしました。これは主に、買掛金が56,443千円減少したこと並びに短期借入金が150,000千円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は、778,924千円となり、前事業年度末に比べ64,388千円増加いたしました。

#### (純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,435,850千円となり、前事業年度末に比べ229,392千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金144,743千円の増加によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、連結売上高、連結営業利益、連結経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はともに前回（2月12日）公表値から減少し、連結売上高は1,006百万円、連結営業利益16百万円、連結経常利益11百万円、親会社株主に帰属する当期純利益9百万円となる見通しです。なお、当資料に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

詳細につきましては、本日公表の「連結業績予想の開示および個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,424,812	1,449,447
受取手形及び売掛金	192,310	238,644
商品	37,763	127,801
仕掛品	1,639	-
その他	16,862	21,545
流動資産合計	1,673,388	1,837,439
固定資産		
有形固定資産	71,014	138,667
無形固定資産	105,729	156,516
投資その他の資産	70,861	82,151
固定資産合計	247,606	377,335
資産合計	1,920,995	2,214,775
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	67,169	10,725
短期借入金	450,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	3,420	3,420
未払法人税等	948	1,717
その他	81,597	54,511
流動負債合計	603,136	670,374
固定負債		
長期借入金	111,400	108,550
固定負債合計	111,400	108,550
負債合計	714,536	778,924
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,547	60,100
資本剰余金	1,362,723	1,404,277
利益剰余金	△174,656	△29,912
自己株式	△156	△380
株主資本合計	1,206,458	1,434,084
新株予約権	-	1,766
純資産合計	1,206,458	1,435,850
負債純資産合計	1,920,995	2,214,775

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	511,637	784,302
売上原価	44,828	141,218
売上総利益	466,809	643,083
販売費及び一般管理費	370,184	492,853
営業利益	96,624	150,230
営業外収益		
受取利息	7	14
為替差益	-	0
助成金収入	251	-
その他	17	60
営業外収益合計	276	74
営業外費用		
支払利息	4,379	3,844
為替差損	67	-
株式公開費用	11,648	-
株式交付費	4,940	-
営業外費用合計	21,036	3,844
経常利益	75,864	146,461
税引前四半期純利益	75,864	146,461
法人税、住民税及び事業税	711	1,717
法人税等合計	711	1,717
四半期純利益	75,153	144,743

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ41,553千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が60,100千円、資本剰余金が1,404,277千円となっております。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2021年9月17日付の取締役会決議により、新たに子会社を設立することを決定し、2021年10月1日に設立いたしました。

1. 設立の理由

当社は、「世界を便利に、人々を幸せに」をミッションに、眼をもった AI カメラを街なかに広げることで、リアル空間のデジタル化による社会課題の解決を目指しております。エッジAIによる画像解析技術によりスマートシティで活用できる各種サービスを開発し、提供しております。

このたび、エッジ AI を搭載したカメラやサインエッジ機器等の設置及び運用・保守を行う子会社として、ニューラルエンジニアリング株式会社(以下、「ニューラルエンジニアリング」といいます)を設立することといたしました。

ニューラルエンジニアリングの設立により、AI ソフトウェアの提供と機器設置、運用・保守をグループで一気通貫のサービスとして提供できるようになります。長期間にわたり常時安定的にエッジ AI をご活用いただくために必要な機器の運用・保守を専門チームが担当させていただくことで、安心して当社サービスを使っていただける体制を整備いたします。

2. 設立する子会社の概要

- |           |  |
|-----------|--|
| (1) 名称    | ニューラルエンジニアリング株式会社                          |
| (2) 所在地   | 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号                          |
| (3) 代表者   | 代表取締役社長 岩切 翼                               |
| (4) 事業内容  | エッジ AI 搭載機器の設置・運用サービスの提供及びエッジ AI サービスの運用支援 |
| (5) 資本金   | 15,000千円                                   |
| (6) 出資比率  | 当社 100%                                    |
| (7) 設立年月日 | 2021年10月1日                                 |

(取得による企業結合)

当社は、2021年10月22日付の取締役会決議により、株式会社フォーカスチャネルの全株式を取得することを決定し、2021年11月1日に同社を完全子会社化いたしました。

1. 株式取得の目的

当社は、2019年よりサイネージ広告サービスをスタートいたしました。商業施設やオフィスビルを中心にAIカメラを搭載したデジタルサイネージを設置し、通行人や実際に広告を視聴した方の視聴データを集積することで、屋外広告に付加価値を提供することを目的としております。

株式会社フォーカスチャネル（以下「フォーカスチャネル」といいます）は、2017年より都心部の大型ハイグレードマンションのエントランスを中心にサイネージ広告事業を展開しており、サイネージ広告分野の先駆者として、設置台数を拡大しています。

当社は、フォーカスチャネルが提供する広告放映用サイネージ機器にAIカメラを装備し、より効果的な広告配信を可能にすることで、広告主様へ高い価値をご提供するとともに、マンション管理のデジタル化にも貢献いたします。また、売主である株式会社Wizとも連携を継続しながら、フォーカスチャネルがもつ営業力と設置ノウハウをグループに取り込み、設置台数の急速な拡大を目指してまいります。

2. 株式取得の相手方の名称

株式会社Wiz

3. 買収する会社の名称、事業内容、規模

- (1) 名 称 株式会社フォーカスチャネル
- (2) 事業内容 広告業・広告代理店事業
- (3) 資 本 金 20,000千円

4. 株式取得の時期

2021年11月1日

5. 取得する株式の数及び取得後の持分比率

- (1) 取得する株式の数 2,000株
- (2) 取得後の持分比率 100.0%
- (3) 取得価額 250,000千円

※1. アドバイザリー費用等は上記の取得価額に含まれておりません。

※2. 取得対価に加えて、業績の達成割合に応じて条件付対価（以下、「アーンアウト対価」という。）を株式取得の相手先に支払う合意がなされています。

※3. アーンアウト対価は株式取得の相手方に追加的に支払われる対価であり、株式取得後6か月のフォーカスチャネルの売上高が一定の金額を超えた場合、0千円～150,000千円の範囲内で支払われます。アーンアウト対価の導入により、本件買収に伴う当社のリスクを軽減するとともに、フォーカスチャネル側に対するインセンティブ効果が得られることとなります。